



**ONE TEAMで もっと賃上げ・生活改善**

— 労働条件改善を加速させ、人財の確保・定着につなげよう —

2025年 3月 10日

日本鉄道労働組合連合会

**交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会  
 2025春季生活闘争勝利3.3総決起集会**

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会は、3月3日、田町交通ビルで「この国の社会を支える私たちキーワーカーにふさわしい賃金と労働条件を勝ちとろう！」をスローガンに、「2025春季生活闘争勝利3.3総決起集会」を開催し、産業間格差の是正に向けて最後まで全力で闘い抜く決意を固めあった。



池之谷議長

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った池之谷潤議長は、今次闘争を取り巻く環境や交通運輸・観光サービス産業の現状について触れ、「人材不足による労務倒産件数が過去最多となっている。持続可能な交通運輸・観光サービス産業の再構築にむけて、交運労協に結集する60万人の力で最後まで力強い運動を展開しよう」と述べた。



芳野会長

来賓として、次期参院選推薦候補の森屋隆議員、岸真紀子議員、小沢雅仁議員のほか、連合から芳野友子会長が出席。芳野会長は挨拶で、「よいサービスに相応の値が付くのは、対価を払える経済力があってこそ。大企業・中小企業を含めた『みんなで賃上げ』を実現するため、会社と腹を割って最後まで交渉してほしい」と訴えた。

続いて、交運労協の慶島譲治事務局長（JR連合特別執行委員）より、①産業の基盤たる人材の確保、②拡大する産業間格差の是正、③物価高騰に対する実質賃金の確保、④賃上げの原資となる価格転嫁の推進、⑤産業内の規模間格差の是正」の5つの視点にもとづく交運労協2025春季生活闘争方針について提起があり、参加者全員で課題認識を共有するとともに今後の取り組みにむけて意思統一を図った。



慶島事務局長

その後、構成組織を代表して、運輸労連、交通労連、サービス連合などの代表者より今次闘争勝利に向けた決意表明が行われた。

最後に、集会宣言を確認し、池之谷議長の団結ガンバローで、2025春季生活闘争勝利に向け、交運労協に結集する仲間が一丸となり闘い抜くことを確認した。

